ふれあいのひろば

第二町会を中核にネットワーク わたしの町のすこやか活動
川崎市の補助事業に認定さる

市当局の指導を受け19年度すこやか活動事業の認定を申請し、受理されました。
○名称は玉川地区すこやか活動地域推進委員会となり、
○年間目標は「玉川地区すこやか活動地域推進委員会としてネットワークを構成した各団体が協調のもとに、各々が活発な活動を展開することにより、高齢者が生き生きと暮らせる町づくりを目指します。このためにはネットワークのチャンネルを通じ、先ず知り合い、次に挨拶し合い、協力し合い、そして助け合う。この高齢者の共助体制のできたコミュニティづくり、閉じこもり、引きこもり、の殻から抜け出す生きがいを与え、介護予防重視型の活動を展開します」と設定しました。
○この委員会の性格を分かりやすく整理しますと次の様になります。
1、委員会の性格＝第二町会とは別団体であること。
2、活動参加者の範囲＝町会以外の団体又は個人を含めたものであること。
3、経理の区分＝委員会の活動に係る経費をもって経理する。各団体とは別経理。
4、事業実績報告＝年度終了後に事業報告書及び決算書を提出（領収書の保管、事業実施証拠写真）
5、市役所の広報に協力
6、本年度の事業計画と予算執行＝各団体の活動計画に合わせて、すこやか活動推進委員会から交付される予算を執行する。
7、来年度以降＝次年度以降の事業認定の申請も可能であること。
○6月時点での参加団体は次のとおりです。
・上平間第二町会・平間第二老人クラブ・玉川地区社会福祉協議会・民生委員協議会・児童委員協議会・地域包括支援センター・特別養護老人ホーム・平間スポーツレクリエーションクラブ・すこやか活動ゴルフの会・同～囲碁、将棋の会・同～釣りの会・同～健康体操の会・同～旅行の会・同～俳句の会・同～観劇の会。
○なお、6月26日に第1回地域推進委員会を開催し、7月9日には各団体の担当者が集まり、今後の実務的な打合せを行いました。
（町会長 山上 正）

家具の転倒防止対策 アンケート調査の結果
マスコミも調査を評価

阪神淡路大震災の教訓を生かし、家の中で怪我をしたり死亡することを防ぐ対策として家具転倒防止対策が重要です。
この為、第二町会では理事、委員さんの協力のもとに全世帯を対象にアンケート調査を実施しました。その結果は次の様なことであります。
1、調査票配布数　１，２８３世帯
2、同　回収数　７１１世帯
3、回答の内容
(ア)「はい」　４３７世帯　61.5％
(イ)「いいえ」　２０８世帯　29.2％
(ウ)「準備中」　６６世帯　9.3％
4、「いいえ」の理由
(ア)特に理由なし　91件
(イ)しなければと思いつつやっていない　31件
(ウ)意識がないため　11件

（調査結果の分析）
・全体の3割強の世帯が家具の倒壊防止対策を行っていない。無回答を考慮に入れると危機意識が風化している。
・「いいえ」との回答中、特に理由なしと答えた91世帯と無回答の572世帯について早急の対策を要請したい。

（新聞報道）
神奈川新聞では8月28日付で「世帯4割家具転倒対策なし」と調査の結果を報道された。日頃の地震への備えがあらためて問われると指摘されている。

＝お知らせ＝
小さな歴史・長谷川英吉氏
今回は都合によりお休みになります。御了承ください。

かわら版

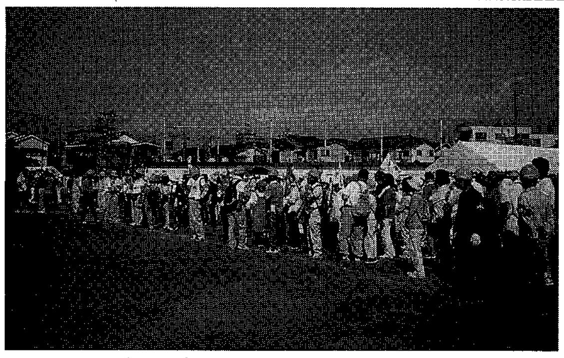
平成１９年10月1日発行
上平間第二町会
編集責任者
堤　秀夫
印刷所 長谷川印刷㈲

防災対策・モデル地区会議・総合防災訓練

6月のアンケート調査に引続き9月5日に防災モデル地区会議、9月8日に総合防災訓練を実施しました。訓練は平間中学校区地域教育会議と共催で内容は避難、消火、煙体験、震度体験、給水、救命救出、炊出、トイレ組立の訓練を行いました。

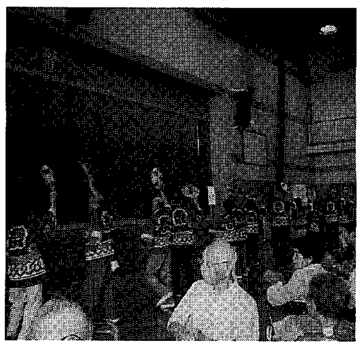
１区・２区・４区のリーダーの話し合い

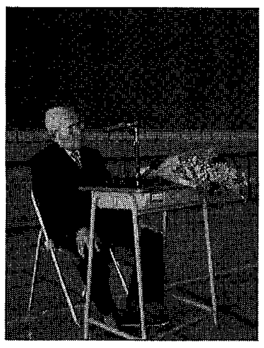
第１次避難所に集合点呼～八幡神社にて


平間中学校～参加者260人、うち中学生40人。区役所、消防署、水道公社、環境局の指導を受ける。

敬老の祝い 9月17日 百歳の堀内さん講演

敬老会が盛大に開催されました。出席者148人、病弱のため自宅訪問者は34人でした。第1部式典で今年7月に百歳になられた7区の堀内信行さんが、「私の健康法」と題して講演をされました。第2部は平間中学校生徒のブラスバンド、老人クラブ、町会役員有志による演芸が行なわれました。なお、神奈川新聞の取材がありました。


恒例の「花笠音頭」町会役員有志による


講演「私の健康法」百歳・堀内信行さん

防犯デー 毎月10日
中原警察署 防犯協会と協力

ひったくり、空き巣など犯罪が絶えません。日常の用心が大切です。上平間地区は比較的に犯罪の発生件数が少ないと言われています。しかし、油断は大敵です。上平間第二町会では中原警察署、中原防犯協会の協力を得て、防犯チラシ、防犯グッズの配布をしながら商店街を中心とした人通りの多い場所でキャンペーンを実施することにいたしました。
（防火防犯部）

防犯チラシ、防犯グッズの配布

納涼こども花火大会 8月5日多摩川河川敷

台風5号の残した影響で雷雲の発生した中、無事に行われました。申込みのあった子供さんは174人、両親等を含めると約400人近くの人が楽しみました。花火はナイアガラの滝、かき氷のサービスが人気でした。（青少年部）

ナイアガラの滝

かき氷のサービス

高齢社会部 防災部 衛生部 三部合同勉強会を開催
6月17日、23日、24日、30日に実施

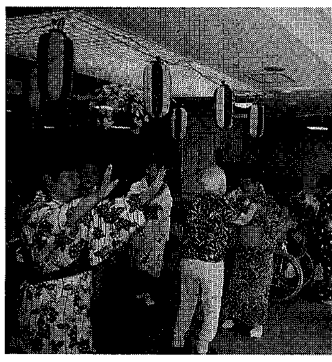
町会では年度が変わると新しい理事さんと委員さんが就任されます。そこで町会では町内を4地域に分けて三部の合同勉強会を数年前から開催しております。町会のねらいは、毎年実施することで理解者の絶対数を増加させ、町内全体のレベルアップを図っていく事にあります。今年は延べ１４１人が参加しました。
（三部共同開催）

４地域に分けて勉強会

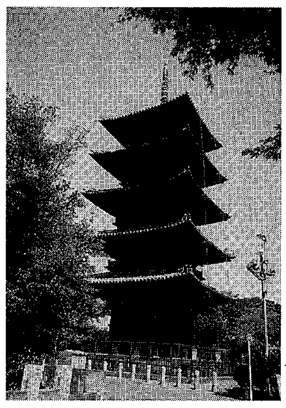
ひらまの里特養ホーム ゆりの会 踊りの慰問

夏祭りの慰問が台風4号の襲来で中止になり、その後、7月25日に再度の呼び掛けがあり慰問しました。会場の2階食堂ホールには車椅子の入居者40人が訪れ大盛況でした。ゆりの会の人は汗びっしょりの熱演で大変喜ばれました。

慰問の踊りのひとこま


手をとって踊りの仲間に

ストレス解消 ぶらり旅



十数年前、休日は必ずガイドブックを片手に、ぶらり散歩に出かける習慣ができた。
昔日のことが懐かしく、いろいろな感慨もあるので、十数年を経て、かつてのぶらり散歩の跡を訪ねてみることにした。
ガス橋を東京側に渡り、環状8号線を突っ切って大田区千鳥町、久が原の山手住宅街を通り国道1号線へ出て北へ進むと間もなく右側の小高い丘に、池上本門寺の大伽藍が見えてくる。本堂脇にただ1軒の軽食を食べさせるお休み処がある。この店の前に小さな屋台があり、手作りの草加煎餅を売っている。聞けば埼玉県草加市から土・日と祭日に通ってきて店を開いているという。とても話好きの老人で楽しい。次は境内にある五重塔で慶長13年、1608年の建立と立札に書かれている。一見の価値がある。すぐ脇の急坂を下ると、フランス・レストランがある。屋外のテラスで緑陰と明るい陽の中、若い二人連れのご婦人がワインとケーキを前に歓談している姿が雰囲気にピッタリである。本門寺境内を左手に降りると大坊という末寺があり、本堂の裏手に素晴らしい庭園がある。作者は判らないが、鎌倉時代の夢窓国師の造園を思い出させる。平間から徒歩で行ける散歩コースとして手頃である。天気の良い日には煎餅売りの老人と世間話をし、輝く上天気の中でワインを飲み、わくら葉の浮く庭園を眺める。ストレス解消に是非ともお薦めのコースである。
＝投稿＝

料理教室２

献立

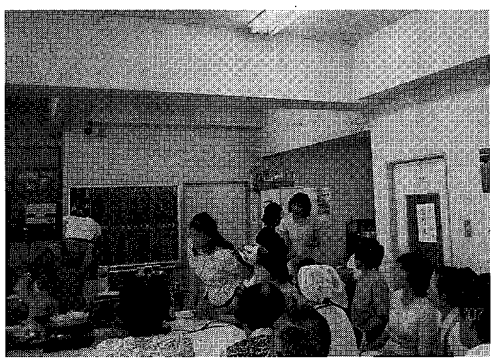
1、なすのまる煮（４人前）
・なす　５個・ゴマ油　大さじ 1.5
・赤唐辛子１本（種ぬき）・醤油　大さじ２
・酒　大さじ２・砂糖大さじ２
・片栗粉　適量・ピーマン　適量

2、そのままグラタン（４人前）
・マカロニ（早ゆで）１カップ・玉葱１～２コ
・ベーコン　１００g・バター　大さじ３
・小麦粉　大さじ２・牛乳　２カップ
・コンソメ　１コ・塩　小さじ１
・コショウ　少々・ミックスチーズ　適量
・パセリ　適量

3、甘納豆入りそば蒸し羊羹（10人前）
～新茶のお供に～
・そば粉　大さじ10・水　大さじ５
・ゆで小豆缶　２缶（約２００g）
・甘納豆（うぐいす豆、あずきなど１００g）

感想、御意見など（一部）

・すべて３種類おいしかったです。お茄子もあんなに簡単に調理できるとはビックリです。グラタンもあんなに簡単においしく出来るとは驚きです。早速やってみたいと思います。
・グラタンはちょっと塩が多い感じでしたが、家で作る時は調整して作りたいと思います。
・旬の材料で体にも良く、おいしく手作りの料理は長生きのためにも、また計画していただきたく、楽しみにしております。
・料理教室で教わったことを我が家に帰り挑戦してみます。また次の機会に御指導下さい。
・茄子のまる煮がとてもおいしかったです。早速作ります。忘れてしまうのでレシピに作り方を簡単に入れて下さい。
・チーズの嫌いな私が大変おいしく食べられて本当にありがとうございました。また材料も安く食べられました。



熱心に説明に聞き入る

★思い出のコーナー　晩年を趣味に生きた夫

11区　若山　愛子

昭和４年生まれの夫、若山三郎は多臓器不全のため平成15年３月４日73才で他界しました。東京南品川の青物横丁駅前で家業を継いで鮮魚店を営み雇い人も使用して大変に繁盛していましたが、区画整理があって川崎の現在地に移転して営業を続ける事になりました。平成２年に体調を崩して廃業し、療養に専念した結果、平成６年には元気になって、以来、趣味の世界に没入して生きることになりました。高専では建築科専攻でデザインと共に絵の世界に興味を持つことになったといいます。中小企業婦人会館にあった水彩画教室に通い他界するまで続けることとなりました。

好きこそものの上手なれと云いますが、川崎市文化財団主催美術展に平成９年から13年迄５年連続で入選しましたが14年には落選しました。夫が申しますには既に絵に力がなかったんだそうです。また、夫婦でよく海外に絵を描きに旅行しました。私が行かなければ荷物が運べなかったからです。カリブ海クルーズにも２回行きました。本当に好きだったんです。エジプト、トルコ、ギリシャにも旅行しました。夫の生涯の願いをなんとか叶えてあげたいと思い夢中でした。詩吟もやっていました。中国の詩人、李白の「峨眉山月の歌」などをよく吟詠していました。忠鵬

秋の日本一周クルーズ
1998年9月11日～9月20日にっぽん丸

吟詠会に所属していた様でしたが晩年は声が出なくなって断念しました。

俳句は平間句会というのがあり「海」という大きな句会の一派で、先生は同じでした。

夫が最後となる日の前日は句会に出席する積もりで４句を用意していましたが、家の中で転倒し、それがきっかけとなり他界することとなりました。日の目を見ることのなかった４句は色紙にして残してあります。

○啓蟄（けいちつ）やリストラ嘆く人の居て
○鰆（さわら）焼く箸先にぶく身を崩し
○蛤の汁に海の香溢れけり
○道路わき花々咲かせ春競う

私の家の玄関を入った正面に夫が描いたカリブ海の海岸を散策する自画像が掲げてあります。それを見られた町会の役員の方が、是非ともお話を聞かせて欲しいとの事で今回の思い出の記事となりました。

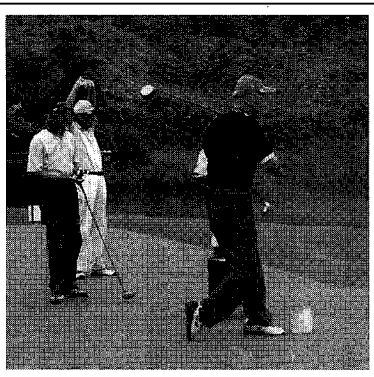
ミニディサービス　ひらまの里・地域包括と共催

誕生会とか新しい発想もとり入れ、また、年寄をターゲットにした新しい手口の犯罪を紹介する落語など開催されました。

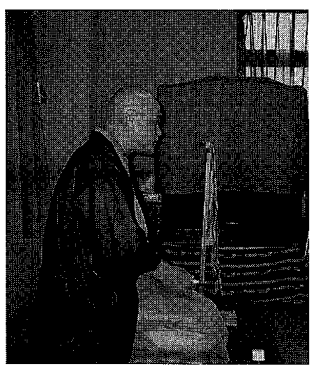
懐かしの歌の合唱

後列左から八木、若山、富岡、田中、小島　前列左から中田、秋元、宮内、鈴木、松尾さん　6月28日誕生会

ゴルフで楽しくすこやか活動



新緑の中でのティショット



夢見亭わっぱさんの落語

第二町会文化部、趣味の会のゴルフの会は、近隣町会（第一、伊勢浦、第三、下沼部町会）の愛好者を含め40名の会員で活動しております。会長に村田一郎氏、顧問に長谷川英吉氏、黒沢、田島幹事の協力を得て、活発な活動を展開しております。

例会は町会会館で隔月、コンペは年４回を計画し、年末のコンペは、終了後会場を平間に移して、全会員を対象に忘年会を開催しております。

ゴルフを通して地域住民との交流の輪を広げ、高齢者の閉じ籠もり防止を図り乍ら、町のすこやか運動の一端を担っております。

さて今回のコンペ（27回）は、千葉県米原カントリークラブで６月14日、20名の参加者を得て開催致しました。

朝６時、会館前をクラブの送迎バスで出発、アクアラインを経て１時間40分でクラブ到着。今日こそは優勝をと闘志を胸にアウト、インに別れてスタート。午後、小雨がパラついたが、大した事もなく無事にホールアウトしました。入浴後の表彰式は一杯を酌み交し乍ら今日の結果を語り合い、親睦を深めました。

新緑のむせかえるコースで白球を追い、丘陵を駆け回るゴルフは、適度の緊張感と体力増強、老化防止等、心身共に大きな糧となること請け合いです。

この素晴らしいゴルフを、皆さんもやってみませんか！

ゴルフの会会員　茂木　久夫

俳句

天神台句会

岩盤に現身（うつしみ）咲くやイワキキョウ
精霊（しょうりょう）の灯と帰りおる多摩流れ
サボテンや静閑（せいかん）と咲き日が沈む　青木　源司

撫で牛に願いをこめり夏祭
行きすぎてふり返りみる紅かんな
朝焼けや墨絵のやうな富士の山　荒井　スミ

三十五度暑くなければ夏じゃない
揚花火みんな一度に口開く
ぶらさがるゴーヤーの真下土寄せる　梅田　松男

花木槿（むくげ）今日も無人の駐在所
清（さや）けしや芙蓉の朝をひとり占め
あるかなし風をまといて水引草　川部　露子

キャンセルと言ってしまおうか油照
吹き割りに白ゆりゆれる日の盛り
夏草に白銀かさねる天神平　斉藤　正子

朝風呂の刻大声の蝉生れし
仰向けに羽搏く蝉を草に置く
コスモスの中で口笛越後獅子　佐藤　輝之

諏訪湖岸榠樝（かりん）をつつむ袋の黄
湯上りに高原の風百合の花
新聞のコラムに涙す終戦日　四津田冨美子

静臥（せいが）してみれば風よき夏座敷
石塀の向う馳けゆく蜻蛉網
街一つ無人の如き暑さかな　高山　房子

夕凪や潮蒸す香に時止まる
遠花火音耳に入り目を閉じる
名を付けし鉢の金魚に世を語り　滝口　園美

川蜻蛉（とんぼ）迷ひ来たるも風に消え
空蝉（うつせみ）はつかまる木の葉人目避け
夏の夕迎えの母も砂遊び　堤　秀夫

鬼灯（ほおづき）や朱を整えて盆過ぎる
打ち水の後のビールや友ありて
菜園の麦藁帽子ミニトマト　山上　正

短歌

命続く

灯明をともし続けて六年なり
今朝はひたすら母に逢いたし
元気ねと云われ続けて過したる
この年月の果てまだ見えず

愛すること愛されること続けむと
一日一日の命を愛す　高山　房子

我が狭庭見捨て行きしかひよ鳥の
声聞かずいてパン屑残る　難波船

久しぶり夜の会食うれしくて
思わず空を見上げて万歳

途絶えたる友の便りにおちつかず
今日は必ず電話してみる　S女87才

名にし負う神代桜の大木が
幾千代かけて生き抜く姿

終戦の記念日迎え辛うじて
生還したる我が身の上を

忘れえぬ人

アフリカ・ナミビアにて

フンザ自動小銃を持って

S貞子さんが他界されて１年になる。昨年末に突然の訃報に接して本当にびっくりした。まだ74才とのことなので、惜しんでも余りある。とにかく元気で活力に溢れていたのに、やはり人は亡くなるという宿命にあるのだと思い知らされた。

私あてにSさんが海外から出された絵はがきが沢山あるので読み返してみて、懐かしさが溢れてきた。

・ウズベキスタンの45度には驚きました。その暑さのなか砂漠を500キロ走りました。
・いまカリブ海クルーズの船上です。14階のエレベーターがついた巨大な船です。
・８月２日からアイスランドとグリーンランドに来ていますが白夜は幻想的です。
・イラン旅行で13才年下の独身の方と気が合い、とても楽しい旅をしています。
・オーロラを見にフィンランドへ行き砕氷船に乗り氷の割れた海にドライスーツを着て入ったりしました。
・エジプトで事故がありました。テロやサーズ等、大変な時代ですね。
・オランダに来ましたがアンネフランクの家には寄らず仕舞い。チューリップを見ました。

私とY先輩はSさんとブラジルアマゾン旅行で一緒で、特にY先輩とSさんは福島県白河で生まれ育った同郷の仲とわかり、その親近感から旅行中は話しも弾み、帰国後も沢山の便りを貰いました。

亡くなる３ヶ月前にY先輩とSさんに電話したところ、ガンに侵されている事はおくびにも出しませんでした。ただもう旅行には行けそうもありません、歳ですからと話しました。

御主人をガンで20年前に亡くした後、２人の息子を立派に育てあげ、一人はアメリカに、もう一人は東京にと別れて生活し、自分は愛知県東海市で一人暮らしを続けておられた。折角の余生の楽しみを世界中の歴史と文化、様々の人々と触れ合うことに求めてきた人生、無念の思いが残ったと思う。

機関車の様に走り続けたSさんの生きざまは、私には壮絶な戦死を遂げた様に見えてくる。私達は年令的に喪失の時代を迎えており、両親、兄姉、友人、親しかった人々、多くの方々が他界されていかれた。中でもSさんは私とY先輩に強烈な印象を残して去っていかれた。忘れえぬ人である。

蜃気楼